



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第 295 号

発行所: 〒399-8695
北安曇郡池田町池田 3207-1
TEL (0261) 62-3166 (代)
JA長野厚生連安曇総合病院
発行責任者: 院長 中川 真一
編集: きずな編集作業部会
<http://www.azumi-ghp.jp/>
印刷: PO 印刷(株)

メンタルケアセンターあずみ 紹介

センター長 郷津 米美

安曇総合病院は地域医療を担う病院であり、精神科も地域のニーズに即した医療展開を目指した取り組みを進めてきておりました。この間、精神障害者に対する法体系も変革され、障害者基本法や自立支援法が制定されました。それにより精神障害者の地域移行や定着支援が一気に加速されました。このことで、地域移行を受け入れてくれる側の地域の支援担当者の方々との連携がさらに必要となってきました。

このような背景のなか、当院は地域のひとつの精神科社会資源として、地域で生活する精神障害者の生活に医療者も関わるという「生活連携」をキーワードに地域生活支援に取り組んできました。その実践の中で感じていたことは、病院の敷居が高

く利用者や地域の保健福祉行政の担当者との距離が遠いということでありました。

また、私たち医療者も病院のなかでかまえていただけでは真の生活連携のスタイルが成立しないと強く感じるようになりました。このような状況から、病院の資源を外に移行しようという論議が必然的に高まり、メンタルケアセンターの開設が取り組まれました。

そして当センターは平成19年12月12日、安曇総合病院附属の精神科診療所として現在地に開設され、地域のなかで活動してから早4年9ヶ月が過ぎようとしています。

センターの中には「精神科デイケア・ナイトケア・ショートケア」「訪問看護ステーションいやし」「相談事業」「就労支援

室」と4つの事業所があります。

「精神科デイケア・ナイトケア・ショートケア」の通所希望をされると主治医から処方箋が出ます。医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、心理療法士、管理栄養士、音楽療法士といった多職種によるスタッフが多角的な視点から、利用者それぞれの「生活のしづらさ」を一緒に考え、目標を立て、自身の自己決定を支援できるようにプログラムが組まれます。集団プログラム、個人プログラムもあり、一人ひとりの目標に沿う内容になるようにスタッフ一同、力を合わせて取り組んでおります。

また在宅において受けられる「訪問看護」は主治医の指示書により依頼され実施、保健師ま

たは看護師が当事者の自宅に訪問させていただきまます。当事者の日常生活の援助はもとより、当事者の相談や地域社会への適応援助、対人関係の援助、生活する上での権利擁護、さらには家族や関係者への支援を行うケースもあり、当事者や家族が安心した社会生活を送れるように24時間体制の支援を行っています。時には市町村の保健師や必要な多職種と同行訪問も行っております。

「相談事業」は心理士による有料の心理相談(要予約)です。生活のなかで悩みを抱いているものの病院に行こうか迷っておられる方や職場、家族など人間関係の悩みで困っておられる方の相談にも応じております。また相談支援員による相談支援業務を行う相談事業所の許可も受けており、障害者のケアマネージメントも行える体制を有しております。いずれも個人情報守秘義務は守られております。

「就労支援室」は精神障害者の地域でのQOLをめざし、平成22年から院内の諸業務をワークシェアした就労の場を提供させてもらいました。現在、2ヶ所の業務を20名弱の当事者がハローワークを通じて正式雇用の形で就労していただいております。



以上、精神障害者に対して

様々な取り組みを進めてきておりますが今後も地域のなかで当センターの運営は地域に開かれたセンターとしてさらなる活動を継続していきます。そしてこれから、精神科医療が目指すものは障害者、家族や地域の方々(老いも若きも)、地域保健福祉行政関係者、医療関係者他みんなが一緒になって解決する輪のなかにあることができ、助け合える地域になることを望みます。

センター職員一同、取り組みを続けていきたくて考えております。これからもよりしくお願いたします。

メンタルケアセンターあずみ

TEL 0261-62-9830

FAX 0261-62-9860

ツツガムシ病

病院長補佐・皮膚科部長

河内 繁雄

ツツガムシ病は病原体リケツチアを保有するツツガムシ幼虫の刺咬により発症する感染症である。感染症法で4類感染症全数把握疾患に指定されており、保健所への届け出が義務付けられている。ツツガムシはダニの一種で、北海道や沖縄など一部の地域を除いて広く全国に分布し、土壌中に生息しており、幼虫のみが土から出て哺乳動物に吸着する。山や河川敷、草むら、田んぼの畦などで吸着され発症することが多い。長野県では県北部と大北地区が好発地帯である。リケツチアを媒介するのは主にアカツツガムシ、タテツツガムシ、フトゲツツガムシの3種で、各々0.1〜3%が菌を持つ有毒ダニである。かつて山形県や秋田県、新潟県で夏期に河川敷で感染する風土病であったツツガムシ病は、アカツツガムシによって媒介され古典型と呼ばれるが、現在ではほとんど発生を見ない。近年のツツガムシ病は主にタテツツガムシとフトゲツツガムシによって媒介され、両者とも秋〜初冬に孵化するのでこの時期に多発する。フトゲツツガムシは寒冷な気候に抵抗性があるため越冬して春から初夏にかけても発生が見られ、二峰性の好発時期が認められる。長野県では5〜6月の発生例が

多い。

臨床症状は高熱、発疹、刺し口が3主徴と呼ばれ90%以上の患者に認められる。その他、倦怠感、頭痛、リンパ節腫脹が高率にみられる。発疹は爪甲大のばらばらとした淡紅斑で、重症化しないかぎり薬疹のように多発することはない。全身状態が重篤な割に発疹は軽く、全身状態と発疹の重症度が乖離しているのがツツガムシ病の特徴である。壊死化した黒い痂皮状の刺し口を見つけるのが診断の決め手となる。刺し口は外陰部や臀部、腋窩など見つけにくい部位に生じていることも少なくないので、全身をくまなく観察することが重要である。臨床検査では、CRP 強陽性、肝機能障害が高率に認められ、重症例では播種性血管内凝固症候群(DIC)の所見(血小板減少、FDP・Dダイマーの上昇)を呈する。毎年、全国で400〜900例の発生があり、そのうち数%がDICを生じるが、死亡例は数例(1%以下)である。死亡例は薬疹や膠原病などと誤診されステロイドの全身投与を受けてDICが誘発された患者に多いので、安易なステロイド投与は慎まなければならない。診断の確定には、ツツガムシのKato, Karp, Gilliam 株標準抗原に対する抗体価の上昇を確認する。治療はテトラサイクリンが特効薬であり、ミノマイシンの点滴が著効する。

第33回安曇総合病院

地域連携懇話会開催

地域医療連携課 課長 山崎 泰彦

7月25日に当院で開催しました。地域の開業医・開業歯科医の先生方をはじめ関係者および職員をあわせ81人の参加がありました。平成12年から3回、地域の医療連携を深めることを目的に開催しています。

今回は、当院外科副部長久保直樹医師から「急性虫垂炎の診断と治療について・年代

ごとの虫垂炎切除症例の検討」と題して講演がありました。医師会から、医師生涯教育制度における講習会に指定を受けているため、参加された医師等は熱心に聞き入っていました。診断方法や手術方法について質問が出され、久保医師から超音波画像検査とCT検査による診断が主になっていくこと、臍(へそ)にメス



をいれ手術することによって傷が目立たなくなる方法など、最近の診断・手術方法の説明がありました。一般に「盲腸(炎)」といわれ、子どもや若い方に多い疾患と思われませんが、現在では高齢者の発症が多いと報告されました。さて、医療の地域連携についてです。病院は、外来診療は一部を除き午前中としています。それは、午後には手術や病棟回診や特殊な検査を行うためです。また、開業の先生からの手術紹介・入院紹介を受けます。このた



め、外来診療においてお待たせする時間が多く、皆さんに大変不便をおかけしています。そこで、病院では病状等が安定された患者さんを地域の開業医師・歯科医師の先生へ積極的に紹介をさせていただいています。連携懇話会では、病院からの患者さん紹介がスムーズにできるように地域連携パスの報告を行うなど、参加の先生方とディスカッションを行っています。病院と診療所が機能を分担し、患者さんの治療にあたる連携にご理解をお願いします。これから、病院としての機能を発揮維持し、地域医療連携が進むように努めます。

公開講座通信

地域住民のための健康公開講座が8月25日に行われました。この講座は地域住民の皆さんに疾病についての正しい知識を提供し、また当院がどんな領域に力を入れて診療にあたっているかを知っていただくため、毎月1回開かれていくものです。

13回目となる今回は、「一生視力に困らない秘訣」と題しまして、信州大学医学部眼科学講座 教授 村田敏規先生からお話をいただきました。約160名の参加がありました。



…次回予定…

第14回地域住民のための健康公開講座

日 時	9月29日(木) 外来棟1Fホール 19時から
テーマ	「放射線：医学への応用と安全管理」
講 師	信州大学医学部画像医学講座 教授 角谷 眞澄 先生

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

休診日のお知らせ

で囲ってある日にちが
全科休診日です

ひとりごと

下里 健太

私は、小学校の頃から野球をやってきました。今も仕事の他に組合活動として安曇総合病院野球部に所属しています。幼い頃からやっていた野球が仕事での人間関係形成に役にたっていると思います。

野球というスポーツは、自分を成長させてくれるスポーツだと思っています。例えば時間厳守、礼儀、人間関係などいろんなことを教えてくれます。他にも仲間の輪、友達の輪、先輩後輩との輪、たくさんつながりができるスポーツだと思います。私はそんな野球が大好きです。

そんな大好きな野球ができるのも、見守ってくれた両親や仲間、まわりでサポートしてくださる方々がいるおかげだともいえます。決まて一人ではできないことです。だから、これからも野球ができる喜び、感謝の気持ちを忘れず一生懸命頑張る、仕事にも生かしていき、地域に貢献できる職員になりたいと思います。



トピックス・アズミ

▼9月1日(木)、認知症を考慮する講演会が行なわれる予定です。

▼9月25日(日)、休日緊急当番医となっております。

▼9月29日(木)、地域住民のための健康公開講座が行なわれる予定です。

編集後記

今年の夏は節電と厳しい暑さにより熱中症の人が続出しました。自分自身も初めて熱中症のような症状を体験し、確実に進んでいる温暖化の影響を感じ、より一層節電に取り組みなくてはと思いました。残暑が続きますが昼夜の温度差は大きくなってきましたので、体調管理には気を付けたいものです。

また今年の秋は震災の影響で米不足が心配されています。震災直後の、不必要な買い占めのような混乱が起こらないことを願っています。(A・K)

安曇総合病院理念

および基本方針

〈理念〉

私たちは、地域の皆さまの健康を守るため、親切で安全な医療活動につとめ、ホスピタリティあふれる病院づくりをめざします。

〈基本方針〉

- ① 医の倫理を守り全ての患者さんの権利を尊重し、平等で安全な医療・福祉サービスを提供します
 - ② 地域のニーズに応じた緊急医療体制の充実を図ります
 - ③ 地域医療機関と連携し、在宅医療を支援します
 - ④ J・A厚生事業を推進し、保健予防活動を通じて皆さまの健康増進に貢献します
 - ⑤ 臨床研修に取り組み、信頼される医療人の教育育成につとめます
 - ⑥ 文化・研究活動を積極的に展開し豊かな地域づくりに貢献します
- 当院は2004年に厚生労働省から臨床研修指定病院の指定を受けています
- 安曇総合病院臨床研修理念
- 1、医師としての基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけ、広い視野で医療ができることを目標とする。
 - 2、患者に対し誠意を持ち心の通った診療ができる医師を育成し、医学の進歩と地域医療の発展に貢献する。





担 当 医 表

平成 23 年 9 月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科（一般） 初 診	岡田光代 芹澤由樹子	東方壮男 鈴木彩子	川上裕隆 林田研介	岡田光代（第1のみ） 平野 桂（第2・4のみ） 川上裕隆（第3・5のみ） 芹澤由樹子	早野敏英 鈴木彩子	川上裕隆
	内科（一般） 再 診 （予約制）	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 小林信光（信大）	早野敏英 東方壮男	早野敏英	中川真一（予約のみ） （9時30分～11時まで） 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代
	循環器内科	東方壮男	池田宇一（信大）	東方壮男	阿部直之（信大）	東方壮男	
	呼吸器内科	岡田光代	小林信光（信大）			花岡正幸（信大） （第1・3・5のみ）	藤本圭作 （信大：第1のみ）
	神経内科	中川真一 （9時30分～10時30分まで）	鈴木彩子	中川真一 （9時30分～10時30分まで）	林田研介（10時～）	鈴木彩子	林田研介
	腎臓内科	芹澤由樹子	芹澤由樹子（午後） 予約制		芹澤由樹子 上條祐司（信大）		
	血液		川上裕隆	川上裕隆			
	消化器		新井 薫（午後） 予約制				
	肝臓				一條哲也（信大）		
	リウマチ・膠原病 在宅支援			薛孝太郎			信 大
精神科・心療内科	精神科 心療内科 （予約制）	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明 古屋昌宏 鬼頭 恒（信大）	中村伸治 古田 康（第2・4・5のみ） 樋端佑樹（第2・4のみ） 中村敏範 古屋昌宏（第1・3・5のみ）	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明	長村哲周 衛藤高明（第1・3・5のみ） 樋端佑樹 古屋昌宏	村田志保 中村伸治 衛藤高明 古田 康 古屋昌宏	中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明
	認知症診療		薛孝太郎		交代制		
小児科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 （原 敏博）	原 敏博 （保刈 健）	保刈 健 （原 敏博）	原敏博 又は 保刈健	信 大 （原敏博 又は 保刈健）
	午後 特殊診療（予約）		乳児検診（予約）		慢性疾患（予約）	慢性疾患（予約）	
外科	一般外科	佐藤敏行	佐藤敏行	佐藤敏行	久保直樹	久保直樹	久保直樹
	専門診療			信 大（乳腺） （完全予約制）		信 大（甲状腺）	
呼吸器外科		花岡孝臣			花岡孝臣		花岡孝臣
形成外科 （受付15時30分まで）			三島吉登（信大） 13時から				
整形外科	新患受付 （受付10時30分まで）	大場悠己 （受付9時30分まで）	二木俊匡	柴田俊一	王子嘉人	（輪 番）	（輪 番） （受付11時まで）
	予 約	最上祐二 王子嘉人 柴田俊一	谷川浩隆 柴田俊一 大場悠己 高橋 淳（信大）	最上祐二 王子嘉人 二木俊匡	谷川浩隆 二木俊匡 大場悠己	谷川浩隆 最上祐二 畑 幸彦（信大）	
皮膚科		河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香 こども外来（15時～17時） 初診（当日）受付16:30まで	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香
泌尿器科		平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹
産婦人科		信 大	曽根原衛雄			信 大	
眼 科		太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 （午後コンタクトレンズ 要予約）	太田いづみ （受付10時まで）	今井玲子
耳鼻咽喉科 （受付16時まで）			信 大 （14時から診療）			信 大 （14時から診療） （第2・4土曜の前日のみ）	信 大 （受付11時まで）
放射線科					信 大		
麻酔科 （受付11時まで）		松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀
リハビリテーション科		二木俊匡	最上祐二 王子嘉人	谷川浩隆 大場悠己	中川真一	柴田俊一	
歯科口腔外科		中嵐 哲 酒井洋徳	手術日 （急患対応は要相談）	中嵐 哲 酒井洋徳	中嵐 哲 酒井洋徳	中嵐 哲 酒井洋徳	中嵐 哲 酒井洋徳